



日中装用型の 小児近視予防 使い捨てコンタクトレンズ

「MiSight® 1 day」 マイサイト ワンデー

小児の近視に、今からできるサポートを
今日の視力補正と、未来の進行抑制
ふたつを同時に、ひとつのレンズで

装用期間

 1日使い捨て

機能

 近視用

サステナビリティ

 プラスチックニュートラル

—臨床試験エビデンス—

- ①3年間で52%の近視進行抑制効果
- ②コンタクトレンズの安全性が確認
- ③治療中止後のリバウンドがないことが報告されています。

Chamberlain P et al. Eye growth and myopia progression following cessation of myopia control therapy with a dual-focus soft contact lens. Optom Vis Sci. 2025

留萌・宗谷・上川管内(旭川含む)で
初導入！！

2026年4月4日時点
2026年4月17日より診療開始





近視のある視界

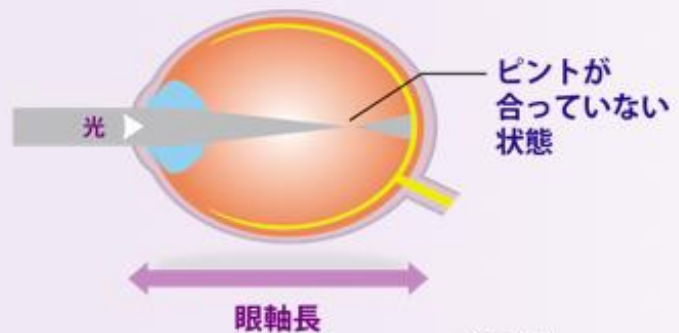
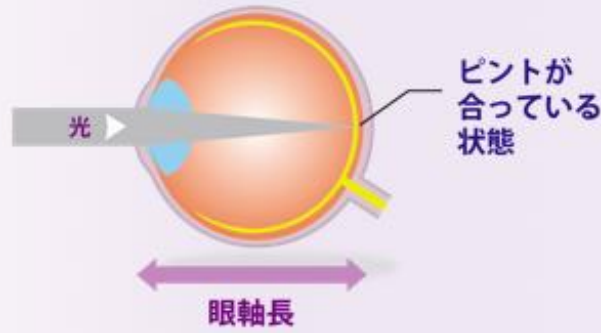


近視のない視界

近視
シミュレーターは
こちら
▶

見え方はイメージです

近視は、子どもの成長期に目の奥行き(眼軸)が過度に伸びることで発生・進行することがあります。近視の多くは、この眼軸の伸長によるものであり、網膜上にピントが合わなくなることで、遠くのものが見えづらくなります。



(イメージ図)



近視が進行すると、見えづらさによりスポーツや屋外での活動など、日常生活に不便を感じる場合があります



お子さまでも扱いやすい

8歳からの子どもでも1か月で85%が
「簡単に装用できる」と回答しています*5



1日中、しっかりサポート

学校生活から課外活動まで、
アクティブなお子さまにも適しています*7



日中の見え方を快適に

ほとんどのお子さまが日常生活で
良好な見え方を実感しています*7



自信を持てるきっかけに

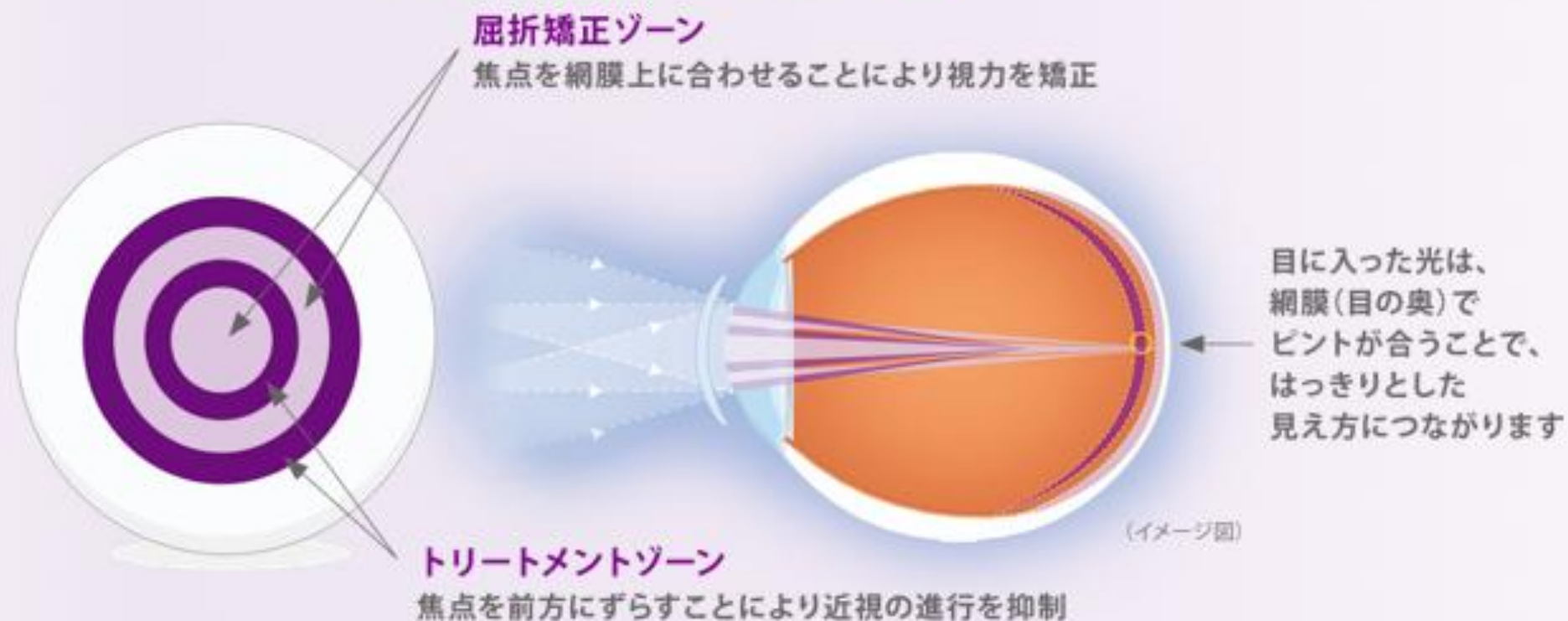
外見やスポーツ、友人との交流に関する
自己イメージが向上する傾向が
報告されています*9



マイサイト ワンデーは、
独自の構造 (ActivControl® テクノロジー) を採用しています。

この設計により、近視の視力補正と進行抑制の
2つの機能があります。

ActivControl® Technology



装用まで診察の流れ フローチャート

コンタクトレンズ装用が初めて

適応検査及び診察

予約不要
診療時間内に
来院下さい

コンタクトレンズ装用練習(要予約)

コンタクトレンズ既装用者

適応検査及び診察

予約不要ですが
午前診(月水金土)：11:00までに受診
午前診(火木)：10:30までに受診
午後診(月水金)：16:45までに受診

即日コンタクトレンズ処方
後日郵送または病院受け取り

MiSight® 1 dayは、通常のソフトコンタクトレンズと同様に、診察費用は保険診療、レンズ費用は別途ご負担いただきます。ただし、低濃度アトロピン点眼(マイオピン)などの自由診療を同日診察で併用する場合は自由診療となり、費用は全額自己負担となります。

保険診療の場合
(健康保険適応)

コンタクトレンズ検査・診察料(保険診療)
コンタクトレンズ料金(1箱1ヶ月分)
⇒税込 6500円(片眼につき)

自費診療の場合
(全額自己負担)

検査・診察料(初回適応検査8,000円(税込)
2回目以降は5,000円税込)
コンタクトレンズ料金(1箱1ヶ月分)
⇒税込 6500円(片眼につき)

院長から

- 現在当院で行なっている小児近視治療は、①偽近視(調節性緊張症)に対するミドリンM点眼治療(保険診療)、②真性近視抑制の**マイオピン点眼治療(自費診療)**、③夜間装用ハードコンタクトレンズ(オルソケラトロジー)(自費診療、現在定員に達し新規受付中止中)の3本柱でした。
- この度**MiSight® 1 day**が新たに追加されました。この治療は定員が無いので、より多くの方に**近視抑制治療を「保険診療」で提供**する事が出来るようになりました。
- **留萌・宗谷・上川管内(旭川市を含む)で初導入**となります。
当院の強みは最新の白内障日帰り手術ですが、**最新の小児近視抑制治療**にも注力したいと思います。

留意点

- 近視進行抑制効果を得るためには、1日10時間以上・週6日以上の装用が推奨されています。効果には個人差があり、定期的な検査が重要です。
- コンタクトレンズ(多焦点レンズ)の構造上、「暗い場所(夜の郊外)で光がにじんで見える。」「日中まぶしい」などの症状が見られることが時々あります(症状がない方もいます)。ほとんどの方は装用に慣れることで軽減しますが、これも個人差があります。
- 入浴時、水泳時、就寝時には必ず外して下さい。
- コンタクトレンズ一般に言えることですが、コンタクトレンズによる眼病(アレルギー性結膜炎、ドライアイ、細菌性結膜炎・角膜炎)が出現した際には装用を中止することがあります。
- (裸眼での視力低下のある場合)眼病が発症した際に一時的にコンタクトレンズ装用を中止し点眼治療が必要な場合がありますので、コンタクトレンズをしていても眼鏡を作成することをお勧めします。(後日、別途眼鏡合わせの予約が必要になります。)